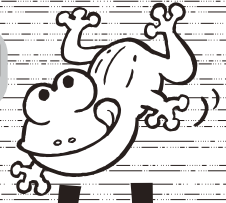


かじかのさとだより

第28号



発行／〒889-2401 南那珂郡北郷町大字大藤甲3186番地1／TEL0987(55)3738 FAX0987(55)3739
社会福祉法人 愛泉会 特別養護老人ホーム 河鹿の里



でも介護
保険制度
において
コムスン
等他事業
所による
介護報酬
の不正請
求問題も

謹んで新年のお慶びを申し上げます。さて、二〇〇七年の世相を振り返ってみますと殺伐とした何とも言い難い年だったように思われます。日々のニュース報道においても非常に凶悪な殺人や銃を使った犯罪、児童や高齢者虐待の問題、身勝手な飲酒運転による死亡事故など今までのわが国の治安では考えられない事件が起きています。また、食品の製造偽装、産地偽装など、「偽」と表された一年でもありました。偽装においては、我々の身近なところ



愛泉会副理事長
河鹿の里施設長
川越 宏

謹賀新年

あり不信や不安を多大に与えることとなった社会問題のひとつでもあります。そのような中、社会福祉や社会保障の分野は大きな変革期を向かえ、特に介護保険制度改革は介護予防に重点を置き、利用者の方々が可能な限り在宅において、その有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、心身機能の改善、環境調整等を通じて自立を支援し、生活の質を向上させることが求められています。これらを踏まえ、このたび長期に亘り計画を進めてまいりました、新河鹿の里デイサービスセンターが完成し、昨年九月一日より営業を開始することができました。これからも、地域の総合的な在宅サービスの拠点となり、また、地域の交流の場としてもご利用いただき、皆様と共に支え合う福祉の町づくりに寄与してまいりたいと考えております。本年も、職員一同心を新たに、「安心と信頼」の施設として、誠心誠意取り組む所存でありますので、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

北郷町青年育成大会

Ⅱ 音楽クラブ参加Ⅱ

十一月三日、北郷町青年育成大会に河鹿の里音楽クラブが参加し、大舞台で堂々と発表しました。久しぶりの発表ということもあり、練習の時から熱が入り、本番にそなえました。当日は、黄色のトレーナー、ベレー帽、スカートの揃いの衣装に身をまとい、三曲を演奏しました。緊張して、硬い表情を見せられる方もいらつしやいましたが、ステージに上がると一転して、指揮者に注目し、三曲ともにミスすることなく完璧に演奏を終えることができました。観客席からは、大きな拍手を頂き、満足の出来に笑顔があふれていました。作品展も見学し、充実した一日でした。

〈大太鼓……安藤キミエ様〉

緊張したけれど、練習通りに間違えることなくできて、とても良かった。又、練習を頑張りたい。

〈小太鼓……土屋ミツヲ様〉

全ての曲が上手くできて、満点だった。お客さんから、拍手をもらった時は、感激の涙があふれた。

〈タンバリン……弓削アグリ様〉

練習不足で、とても不安があったけれど、集中して指揮者を見たので上手に叩くことができた。

これからも、素晴らしい演奏をめざして頑張ります。



グルメツァー

「グルメツァー」毎回、行先を変える事で更に皆様に楽しんで頂ける様にと今回は、北郷ホテルフェニックスに行ってきました。当日は、天候

にも恵まれホテルからの眺めも最高でした。食事は、懐石料理でさしみがとても新鮮で、御飯のおかわりも出来、皆様お腹一杯頂きました。楽しく会話も弾み、帰りに、売店でショッピングと、楽しい一日を過ごされました。



クリスマス会

十二月に入り、園内には、ツリーやイルミネーションが飾られ、クリスマス気分一色となりました。二十日に行われた、クリスマス会ではカトリック園児が、晴れやかな衣装で踊りを披露して下さい、利用者の皆様は大変喜ばれました。



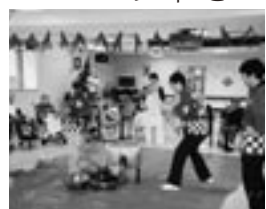
手芸クラブ 花立の桜完成

那須先生のご指導の元、手芸クラブにて、約九ヶ月間に渡り取り組んできた、ちぎり絵「花立の桜」が完成しました。作品の前で、感動の一枚です。



もちつき

昨年末に、恒例の餅つきを行い、一年を締めくくりました。



皆さんの「ヨイショ」の掛け声と共に、豪快につき上がった餅は、すぐに、利用者の方々の手によって丸められました。早速、イモ餅を頂き、あまりの美味しさにおかわりの声も沢山聞かれました。

～頑張っています～

安藤 キミエ様
毎日、夕食前になると、その日の夜勤者を園内放送で紹介されています。毎日欠かすことなく元気な声が、園内に広がっています。



今、励んでいる事

幾嶋 孝雄様
毎日一心に書道に励んでいらつしやいます。日々、上達され力強く雄大な書体は、圧巻です。



土屋 ミツヲ様
折にふれ、短歌を詠まれています。季節や行事を題材にした、すばらしい句の数々です。



お二人の作品は園内に、又、「花立の桜」は玄関フロアーに展示してありますので、どうぞ御覧下さい。

母のまなざし



長友 マツノ 様

私の母

父が病気で入院生活が長かった為、母は若い時は半後家と言われながら、女手一つで三人の子供を育てた。忙しいながらも、たまに磯遊びに連れて行ってくれた事が楽しい思い出だ。四十歳過ぎで、布団、カーテン、カバー類縫製の技術を学び、ミシン踏みの人生が始まった。私が結婚する時も布団一式を作ってくれた。父は二十二年程前に亡くなった。私達には子供が恵まなかったが、妹の二人の子

供を生きがいとし、縫い物にも励んでいた。母の家で上の孫が幼い時、いたずらをして叱られると家の隅に隠れて「ばあちゃんすかん」と泣いていたが母の前では絶対に言わなかった。可愛がるばかりでなく毅然とした態度を取り接していたようだ。下の孫が小学生の時、母を写した一枚の写真がある。孫だから撮れた穏和な顔だ。嫁と母とたまに生地を買いに行くと、曲がった腰で店のバッグや服の縫い方の研究が始まる。バック等を作り人にプレゼントしていた。八十歳になる頃ミシンの縫い目が歪んでいるのに気付くすぐにミシンを処分した。さすが「プロ」母の根性を見た。手押車があればどこまでも歩き買物や人との会話を楽しんでいた。四年前に兄が亡くなりそれから母は家に籠るようになり会話が出来なくなった。一人での生活が無理になって来たので、私の家に来てもらった。最初は嫁に氣を使つて我慢していた様だがだんだん慣れて来て表情が優しくなった。いまでは知人、私達を見ると涙脆くなった。職員の皆様方には心のこ

もった介護を感謝いたしております。

長友 隆明（息子）

スタッフより一言

いつも穏やかな表情で笑顔のすてきなマツノさんです。やさしい子供さん達の面会を楽しみにされています。シルバーカーを使つての歩行も元気に居室と食堂を往復されています。これからも園生活を楽しくで頂きたいと思ひます。



由良 ヨシミ 様

母の祖母

祖母は、明治四十三年十二月一日北郷町大藤で徳井家の一人娘として生まれました。



九歳の時に母と死に別れ大変さみしい思いをしたと聞いております。祖父は、お酒が大好きで家に帰ると祖母にやまいをほり、とても苦労しました。私は小さいながら祖母がかわいそうでした。そんな祖父も十五年前に亡くなり娘と暮らしてましたが、七年前より長男夫婦の家と一緒に暮らすようになりました。

外の景色が大好きな祖母は毎日のように庭先を散歩したり腰かけて眺めるのが日課でした。毎日規則正しい生活をして記憶力もありきびしいけど優しい祖母です。孫や曾孫の来るのをとても楽しみにしております。

祖母の事は嫁である母がずっと介護するはずでしたが体調を崩し面倒見れなくなり、河鹿の里にお世話になることになりました。初めは入所する事に不安があったようですが皆様に優しく声をかけて頂き励まして頂いた事で体調を崩すこともなく生活出来ていることを深く感謝いたします。寮母さん始め皆様お世

話になりますがよろしくお願ひ致します。

倉永 五月（孫）

スタッフより一言

身のまわりのことは自分でされるところももちろん者の由良さんです。毎日の歩行運動も健康を氣遣つて意欲的に頑張つていらつしゃいます。これからも楽しく、自分のペースで、ゆつくりと園生活をお過ごし下さい。

お礼

ご家族の皆様、いつもこのコーナーへの御協力を頂きありがとうございます。

ご家族の皆様方の心あたたまるお話に、大変感動しております。これからも、宜しくお願ひ致します。

デイサービス おすすめケア

高い天井、大きな窓の建物の中の空間は、眩しいくらい明るいと、利用者の皆様には笑顔で好評を頂いて新年を迎える事ができました。感謝を申し上げます。

新年は、通所サービスケアの充実を図る目標を持って、より一層、健康で過ごされま

す様に、サービスの提供を行っていききたいと思います。

サービスの提供については、昨年、アンケートに御協力を頂き、結果をもとに満足度アップに努めて参りたいと思います。

サービスの内容については予防重視型システムのしくみもあり、特定高齢者の対象や生きがい対象者が異なっていますが、様々な活動の中には、全てに機能の向上の目的が盛り込まれています。

高い天井、大きな窓の建物の中の空間は、眩しいくらい明るいと、利用者の皆様には笑顔で好評を頂いて新年を迎える事ができました。感謝を申し上げます。



家族会研修旅行 施設見学 in 福岡

今回、初めて家族会の旅行に同行させて頂きました。

普段はあまり御家族の方と接する機会がありませんので、少し緊張しましたが、皆さん気さくな方達ばかりでしたので、とても楽しい時間を過ごす事が出来ました。

また、悠生園を視察したうえで、施設内設備の充実や、各フロアの行事の徹底、重度の方の為の、アロマセラピーケア等、学ぶべき事が沢山あ

りました。そしてご家族のご意見や御感想を伺うことが出来、大変勉強になったと思っております。これからも常に初心を忘れず自分の仕事に自信が持てる様、励んで参りたいと思っております。



介護福祉士 川崎 茅乃

委員会運営について

河鹿の里における、七つの委員会（運営、給食、災害対策、厚生環境、事故防止、ケア向上、拘束廃止）では、定期的な会合を持ち、利用者の皆様のQOLの向上の為、様々な内容を検討しており、常に利用者の皆様の視点に立ち、出来る限りニーズに対応出来ますよう努力をしています。これからも皆様に喜んで頂ける様、それぞれの委員会の充実を図っていききたいと思います。

今回、災害対策委員会と給食委員会の取り組み状況を報告させて頂きます。

災害対策委員会だより

十二月に北郷町消防団の方々の御協力のもと、夜間火災を想定して避難訓練を行いました。季節柄火災の発生しやすいこの時期、職員一人一人の防災意識を高める上でも大変貴重な時間を持つことが出来ました。私達は、常に利用者の皆様の安全を考え、これからも毎月の訓練を充実していく事で意識を高めていきたいと思っております。地域の皆様のご協力に感謝しております。



給食委員会だより

レストランに行った気分です。利用者の方にとっても人気の麺類を満喫して頂くとうと麺フェアを試みてみました。六種類のメニューを準備し

お替り自由で、多い方は三杯全員の方が二杯希望され、大好評、果物も旬のものを揃え井フェアに続き、皆様に十分に満足をして頂いた様です。



奉仕作業のお礼

師走の月は、ご家族の大掃除も忙しい時でありながら、奉仕作業に、十五家族の家族会の皆様と、町内より、門川長子様、他六名のボランティアの皆様が、御協力をして下さいました。窓拭きや草むしり等、大変きれいにさせて頂き新年を迎えることが出来ました。有難うございました。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。本年最初の発行です。本年も幅広い広報誌作りに、取り組んで行きます。皆様の御協力、御支援をよろしくお願い致します。